

月刊

立川と語ろう 立川に生きよう

えくてびあん

〈EKUTEBIAN-VOL.6. OCTOBER. 1989-EHUTEBIAN〉

10



まい あーと
■焼きもの「百狸・喜怒哀楽」
by 東 由山

名門集



さすがは「歴史の街」立川で、ひと巡りしてみると「名門」がそこここに目をひきます。近代化がすすんで、合理一点張りのなかで悠然とした門構えは、そこに住む人の風格さえもしのばれようというものです。立川はまた「名門の街」であり、今回はその奥多摩街道編。



普濟寺の門・柴崎4丁目／三笠宮さまより命名されたという「澄心閣」



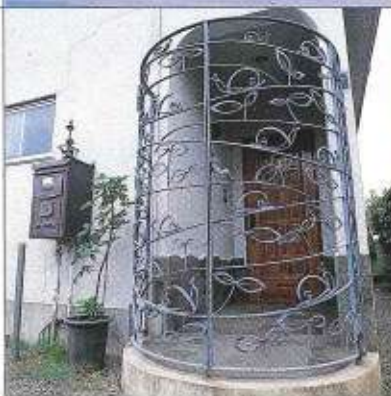
旧中嶋家の門・柴崎1丁目／幕末の名代官・江川太郎左衛門より拝観された礎前の門



石川家の門・柴崎1丁目／150年に亘って施めわたしてきた風格



坂谷家の門・柴崎1丁目／古くは立川に三つしかなかった長屋門がここに掲げてあった



正岡家の門・柴崎1丁目／造形家・塩田明仁氏の作品に惚れて依頼、住む人の心惹き



馬場家の門・富士見2丁目／木材の味わいを生かして、京風にしつらえた昭和56年作の新しい門



遠藤家の門・曙1丁目／匠師・吉沢さんが32年前に模索の中から創りだしたいなせな構え

漢字テスト ④

空欄に一字挿入を試みよう。

●●●**飲馬食**

●●●**初志**●●●

●10月22日(日)開催●

●身障者スポーツ大会●

●場所:市民体育館 ●とき:10時～

●詳しくは☎2111西515

立川の香りをここに

よいと祭り

たつた山車

立川の街を縦横に練り、20日には昭和記念公園に集った5万人の観衆が各地の祭りを満喫。さらに、11基の担ぐ万灯御輿が立川人の燃える心に、熱くふるさとへの思いを伝えた。古い歴史を持つ立川、出来たばかりの祭りではあるが、長きにわたる言い知れぬ庶民文化の土台があるようだ。



日本が一番新しい祭り。が、8月20日立川に生れた。呼び名も「よいと祭り」と、特に付けられ、前日には70年ぶりに里帰りした山車(砂川地)に以前あ

立川香りのこころ

たつた山車

立川の街を縦横に練り、20日には昭和記念公園に集った5万人の観衆が各地の祭りを満喫。さらに、11基の担ぐ万灯御輿が立川人の燃える心に、熱くふるさとへの思いを伝えた。古い歴史を持つ立川、出来たばかりの祭りではあるが、長きにわたる言い知れぬ庶民文化の土台があるようだ。



日本が一番新しい祭り。が、8月20日立川に生れた。呼び名も「よいと祭り」と、特に付けられ、前日には70年ぶりに里帰りした山車(砂川地)に以前あ

立川 トピックス

なぜか懐かし

い立川夏景色

街に涼風がふくよくなってきました。あんなに暑かった日々がうそのようです。それにしても今年の夏、いろいろありました。ほら、こんなに・・・

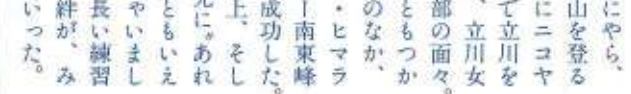
清爽の乙女達

頂上に立つ

なにより、裏山に登る

かにようにニコヤカな笑顔で立川を

出発した、立川女子高山岳部の面々。雪とも氷ともつかぬ悪天候のなか、ネパール・ヒマラヤチルル・南東峰(八四〇〇m)アタックに成功した。いけどもいけども見えぬ頂上。そして歩くこと2週間。「20日先、あれが頂上だ」と聞いた時は何ともいえない喜びで、ジワアツときちやいました。と副隊長の桃井さん。長い練習のなかで育まれた心と心の絆が、みごと未踏の山登頂に結んでいった。



8月27日、広島市で開かれた第二回全日本おあさんコーラス全国大会に出場した「ポーチエ・たちかわ」がおあさんコーラス大会賞を受賞した。代表の林みち子さん(錦町)「さすがは全国大会。みんな歌のうまさは勿論ですが、衣装やふりなど、演出がすごい。でも私たちは、歌で熱唱し「ポーチエ・たちかわ」勝利しよう!」と、一生懸命歌うことだけに集中して、お蔭さまで堂々と歌ったのがよかったという評をいただきました。また次のチャンスめざして頑張ります。

まつりはやっぱり

ユカタです

りて湧いた

のは人間サマばかりではありませぬ。ユカタ姿もあてやかなのは曙町一丁目岩柳さんの愛娘、シーズー犬の桃子嬢。連れ添うは夫君ケンちゃん。こちらは金太郎の腹がけにパッチ、とキメているのですが、いかにせん写真に映らないいなせなところをこぼしただけ残念、とはケンちゃんのつぶやき。26日、築崎町2丁目。



「民謡流し踊り」にあわせて行われた「民謡流し踊り」(8月26日)に選ばれた、村松さん・武藤さん・川端さんが明るく華をそえた。街並に響きわたる開始の合図とともに、青木市長・商工会議所会長の乗ったオーブンカーが、市民の待つコースへと進んでいった。多才な現代女性らしく、ミス立川も熱く身をおどらせた。

街に涼風がふくよくなってきました。

あんなに暑かった日々がうそのようです。それにしても今年の夏、いろいろありました。ほら、こんなに・・・

懸命歌うことだけに集中したんです。

お蔭さまで堂々と歌ったのがよかったという評をいただきました。また次のチャンスめざして頑張ります。



「民謡流し踊り」にあわせて行われた「民謡流し踊り」(8月26日)に選ばれた、村松さん・武藤さん・川端さんが明るく華をそえた。街並に響きわたる開始の合図とともに、青木市長・商工会議所会長の乗ったオーブンカーが、市民の待つコースへと進んでいった。多才な現代女性らしく、ミス立川も熱く身をおどらせた。

町を守るのは「ワタシ」です

一総合防災訓練

9月3日、二中北側の臨時駐車場にて「総合防災訓練」が実施された。午前9時、東京に震度6の直下型地震が起きたという想定で、消防訓練、医療救護訓練などさまざまな訓練が行われた。サイレンが鳴ると同時に、



けつけた曙町の原田君(小学5年生)、「起震車に乗って、すごく揺れたけどおもしろかった。学校でも避難訓練をするけど、普段の訓練が大事なんでしょう。炊き出しの非常食をおいしそうに食べながら話してくれました。

ミス立川も熱く

「民謡流し踊り」にあわせて行われた「民謡流し踊り」(8月26日)に選ばれた、村松さん・武藤さん・川端さんが明るく華をそえた。街並に響きわたる開始の合図とともに、青木市長・商工会議所会長の乗ったオーブンカーが、市民の待つコースへと進んでいった。多才な現代女性らしく、ミス立川も熱く身をおどらせた。

必要手続き、人材の紹介など本場に至れり

必くせりて、こちらが恐縮する程です。

ストックホルムで準備が整うと、ノールウェイをどんな北北北として、北極圏をこえて、ラップランドに入りました。この間、トナカイ、ムース(へらじか)や野兎、りす、鴨、ニシツノモドリ、ウミガラスなどの撮影をつけ、風景ではやはりノールウェイのフィヨルドが圧巻で、思わずシャッターを押してしまおう光景に何度か出会いました。

立川クイズ

「向郷遺跡」(錦町)

を存知ですか。四千年前の縄文びとの住まいの跡ですが、そこから出土した滑石製のペンダント。実はこれ、ある宝石の模造品。本物は高価で手が出ないのでもコピーでも、という苦も今も変わらない人の心ですが、さて、その宝石は...

表紙は語る

まい あーと ●焼きもの「百撰・喜彩袋」 by 東 由山

遠からぬところに、もう秋らしい足音が聞こえてきた季節。今回登場いただいたのは、築崎2丁目「東陶房」のアトリエを構える陶芸家・東由山さん。始めは、陶芸とは無縁の道を歩んでいた。「この世界に入っていく前は、宮大工としてその技を磨いていましてね、これが後に役に立つとは思っていませんでした。戦後、陶芸の世界に進む。幸いにも常滑一刃彫師・牛島一陶氏に学ぶことが出来た。東氏の持つ彫りのダイナミックさと繊細な表現が磨きあげられていった。「おかげで、ハワイイ大学や韓国へ、その技を伝えることが出来ました。また、歴史のある韓国からも色々と学んできました」と、その陶芸に賭ける意欲に驚かされた東氏。立川をはじめ、各地へ向歩き、惜しみなくその技を披露している。

「えくてびあん」さんから紹介していただいた唐沢俊樹氏(ストックホルム在住の画家)

には一方ならぬお世話になっております。ご自宅にも長い間、泊めていただき撮影旅行に

必要手続き、人材の紹介など本場に至れり

必くせりて、こちらが恐縮する程です。

ストックホルムで準備が整うと、ノールウェイをどんな北北北として、北極圏をこえて、ラップランドに入りました。この間、トナカイ、ムース(へらじか)や野兎、りす、鴨、ニシツノモドリ、ウミガラスなどの撮影をつけ、風景ではやはりノールウェイのフィヨルドが圧巻で、思わずシャッターを押してしまおう光景に何度か出会いました。

必要手続き、人材の紹介など本場に至れり

必くせりて、こちらが恐縮する程です。

ストックホルムで準備が整うと、ノールウェイをどんな北北北として、北極圏をこえて、ラップランドに入りました。この間、トナカイ、ムース(へらじか)や野兎、りす、鴨、ニシツノモドリ、ウミガラスなどの撮影をつけ、風景ではやはりノールウェイのフィヨルドが圧巻で、思わずシャッターを押してしまおう光景に何度か出会いました。

ふれあい さわやか

山梨中央銀行

立川支店

〒190 立川市高松町2-16-13

TEL 0425-26-1571

真如死なよけ

澄んだ空気、青い空。いま一年中一番爽やかな季節です。美食の秋、芸術の秋、スポーツの秋。充実した毎日の忙しさの中にもふと、足を止めてみたい日も。今月は「静かな」真如死なよけ、どうぞ。

日時 10月21日(日)

午後3時～5時

御本堂、真如宝物館をはじめとして映画など盛りだくさん

月刊「えくてびあん」第63号

平成元年十月一日発行

発行所 えくてびあん編集工房

東京都立川市富士町2-20 15

パブリックビューイング501-110

電話 0425-26-0082

編集人 立井啓介

発行人 沖野野男

印刷所 株式会社

必要手続き、人材の紹介など本場に至れり

必くせりて、こちらが恐縮する程です。

ストックホルムで準備が整うと、ノールウェイをどんな北北北として、北極圏をこえて、ラップランドに入りました。この間、トナカイ、ムース(へらじか)や野兎、りす、鴨、ニシツノモドリ、ウミガラスなどの撮影をつけ、風景ではやはりノールウェイのフィヨルドが圧巻で、思わずシャッターを押してしまおう光景に何度か出会いました。

必要手続き、人材の紹介など本場に至れり

必くせりて、こちらが恐縮する程です。

ストックホルムで準備が整うと、ノールウェイをどんな北北北として、北極圏をこえて、ラップランドに入りました。この間、トナカイ、ムース(へらじか)や野兎、りす、鴨、ニシツノモドリ、ウミガラスなどの撮影をつけ、風景ではやはりノールウェイのフィヨルドが圧巻で、思わずシャッターを押してしまおう光景に何度か出会いました。

工房から

●門に焦点をあてて立川を眺めますと、あるわ、あるわ。写真選びにひと苦労、久しぶりに嬉しい悲鳴です。●「名門」はたくさんありますが、一つの象徴として立川高校の「校門」に登場していただきました。校門に記されている学名は今日でも「立川高等学校」で、一時代前なら「本字」といわれていた文字。そこはかとなく歴史が感じられ、さすが「名門」の風格です。●本物の「名門」出身の方は、「名門風」を吹かせないものらしいです。本誌編集部もまた「名門風」など吹かせたことは一度もございません。もとも当編集部の場合は、吹かせようにも、どこを探しても「風の素」が見つからないんです。●きのふ去りけふ来たり水 えくてびあん。

漢字テスト

その由。十二種の漢字。いろいろな漢字の読み書きを練習しよう。

漢字テスト



我家は3代目

老舗といい暖簾の重みという。それも3代つづけば語り尽くせない物語がある。この街にも沈黙して静かなる物語のわずかがそここに隠されている。

無言で伝える「仁術」の真髄



長い経験と最新の技術。母と子2つの命への思いが患者を支える。

人生の始まりに立ち会えるので産婦人科を選んだ、と。

井上産婦人科（蘭町2丁目）

大正12年開業。初代は農家の跡取り、家督を譲り苦学して医師になった。砂川へ馬で往診にゆくそのあとを自転車ですいて歩いた少年の日の2代目。凍てつく夜更け、提灯をつけて患者のもとへ急ぐ父の姿に「医術」の真髄をみてとり自から医師の道へ進んだ。3人の子に後をつぐように言ったことは一度もない。が、みな医師に。受け継がれてゆく。医の心、である。



右から井上純さん、浩一さん、正士さん、美帆ちゃん、八重子さん、井上和雄さん、裕子さん

昭和33年頃の井上医院

「子供たちは私のやり方を古いというんですよ。私が父のやり方を古いと思ったようにね。でも、それでいい。親のすることに感心してはいけな、越えていかなければ」と正士さん。頼もしい3代目たちに囲まれて。